

安倍奥三山

日程：2015年 9月 12日

メンバー：Yリーダー、金田安代

報告：金田安代

静岡市街を通り抜け駿河湾に注ぐ全長 50 余kmの安倍川、その東側に南北に連なる長い尾根があります。これが安倍東山稜(あべとうざんりょう)です。南側から辿ってみますと、1,000m余りの竜爪山(りゅうそうざん)から始まり、1,401mの真富士山(まふじやま)、1,550mの青笹山(あおざさやま)、1,726mの十枚山(じゅうまいさん)と徐々に高度を上げていき、1,661mの大光山(おおびっかりやま)、1,918mの八紘嶺(はっこうれい)へと続きます。八紘嶺からは西南西に向けて 2,000mの大谷嶺(おおやれい)、2,013mの山伏(やんぶし)へ連なります。そして青笹山から八紘嶺を経て山伏に至る尾根は静岡、山梨県境を成しています。またこの八紘嶺、大谷嶺、山伏を安倍奥三山といい、安倍川の源流地となっています。

私が安倍東山稜に初めて登ったのは昨年(2014年)の 10 月、紅葉が美しかった青笹山、Yリーダーの「富士山を見に行こうか。」という誘いからでした。その日は天気が良く、山頂からは駿河湾と富士山が間近に見えました。富士山が見えると何か得した気分になります。また新東名の開通で静岡までぐっと近くなり、日帰りの山域としては適切です。その後は今年の 5 月に真富士山に登りました。そして今回が三度目、安倍奥三山の縦走です。コースは県道 29 号線沿いの黄金の湯を起点に、先ず山伏に登り、そこから大谷嶺を経て八紘嶺に至り黄金の湯に下山する右回り、地図のコースタイムは 11 時間余りです。

早朝 5 時 30 分少し前に黄金の湯をスタートし、しばらくは車道を進みました。やがて舗装された林道に入って行きましたが、なかなか登山口には行き当たりません。一旦もと来た道に戻り出すと、早朝にもかかわらず運良く地元の主婦が洗濯物を干していました。その方に道を聞くと、はきはきと教えてくれました。再び先に進み、しばらくすると山伏登山口方面と大谷崩れ方面の案内板がありました。山伏登山口方面の林道は地道に変わり、西日影沢という沢に沿って延びていました。30 分程時間をロスしましたが、山伏登山口の案内板が出てきて安心しました。

登山道も西日影沢に沿っていて、何度か木橋を渡り水量豊富な沢を眺めながらの登行となりました。この山域は水がきれいでも豊富です。初めて入った時も登山道の脇に常に水が流れていて、高い所までワサビ田が広がっていました。蓬峠からは急坂が多くあり、高度を稼げる分だけシンドさが増してきました。道はやがて緩やかになり牛首峠との分岐の案内板があり、山頂はもう近いと思いました。一気に山頂に達しましたが、急坂が長く続いていたので息が上がっていました。トレイルランニングを始めて以来、このパーティは休憩をほとんど取らなくなりましたが、さすがにリーダーもこの時は「ちょっとバテた。」と息を切らしていました。さてその山頂に若者が 3 名いました。会話を聞いていると、この先どうするのかという内容でした。話を私たちに振ってきたので「八紘嶺まで縦走する。」と答えると、そのうちの一人が「私たちががんばろう。」と言っていました。そして先に出発して行きました。ここで富士山を見たのですが、天気がイマイチで見ることができず残念でした。私たちも出発しましたがリーダーのペースが上がりません。「足が攣りそう。」と言いながら漢方 68 番を飲んでいました。

それでも先に進み新窪乗越に着いた時には、先の三人がそこで休憩を取っていました。急坂の稜線の右側は大谷崩れです。時折ガスが湧いてきました。急坂を登り詰め大谷嶺に着きました。歩き始めて5時間、コースタイムより一時間ほど速いだけでした。ここで簡単な昼食を摂っていると三人がやってきました。「速いですねぇ。」と声を掛けてくれました。この後、彼らに出逢うことはありませんでした。



八紘嶺山頂



と犬

いよいよ八紘嶺を目指します。アップダウンが繰り返され体力が奪われます。また所々、細尾根もありました。12時20分に八紘嶺の山頂に着きました。七面山への案内板が立っていました。周囲はガスで何も見えませんが、少し休んでから下り始めました。この下りは斜度といい、足場といい、かなり厳しいものでした。リーダーが「激下りだ。」とぶつぶつ呟いていましたが、高度差1,100mを一気に下り梅ヶ島温泉に着きました。14時でした。一軒ある売店で乾杯をして車道をゆっくりと黄金の湯まで歩きましたが、割と体格の良い犬が途中から附いて来て、私たちが立ち止まると犬も立ち止まり、結局黄金の湯まで一緒でした。吠えるでもなく懐くでもなく、旅の終わりに良い思い出ができました。黄金の湯の料金は1,000円と高かったのですが、疲れた身体が温泉を欲していました。

なおこの安倍東山稜はずっと縦走できるようです。テントを担いで一気に歩いてみたい気がします。

<コースタイム>

5:30 黄金の湯→7:20 山伏登山口→9:30 山伏山頂着~9:45 山伏山頂発→

大谷嶺→12:20 八紘嶺山頂着~12:30 八紘嶺山頂発→14:00 梅ヶ島温泉→14:40 黄金の湯